## 自己評価報告書

平成22年 4 月 26 日現在

研究種目:基盤研究(C) 研究期間:2007 ~ 2010

課題番号:19530458

研究課題名(和文) 過疎山村、十年の変化ー合併、少子化を経たある山村 (大分県中

津江村)の追跡調査ー

研究課題名(英文) A Depopulated Mountainous Village and its Changes during the

past ten years

研究代表者

山本 努 (YAMAMOTO TSUTOMU)

県立広島大学・経営情報学部・教授

研究者番号:60174801

研究代表者の専門分野:地域社会学 科研費の分科・細目:社会学・社会学

キーワード:過疎、農山村、人口 U ターン、少子高齢化、地域定住

## 1. 研究計画の概要

- (1) 1996年に科学研究費によって、九州山地の過疎山村、大分県中津江村の調査研究を行なった。その成果は書籍や論文となって公刊されているが、10年後の中津江村を追跡調査しようと思う。この10年は平成の大合併を含み、過疎山村を調査研究するには、非常に重要な時期である。
- (2) 加えて合併を別にしても、近年、過疎地域は非常に大きな変動期にある。この中でもっとも大きな変化は、過疎地域から子どもがいなくなり、集落が滅びようとしていることである。このような「少子型過疎」は、1990年ごろから顕著に現れるようになったが、その動きは加速化しており、過疎山村に深刻な事態をもたらしている。その実態を見極めるのが、今回調査の課題である。

## 2. 研究の進捗状況

- (1) 19、20年度までで、調査対象地(大分県中津江村)の基本的情報の収集、および、調査票による地域住民調査が一応は終わったので、平成21年度は調査データ分析を進めて、さらに追加の聞き取り調査を付加した。
- (2) さらに、20 年度までにて単純集計は、 完了しているので、それを元にいくつかの統 計分析を加えて、21 年度には、生活構造・生 活意識の基本的分析を試みた。
- (3) 前回1996年調査との比較を分析の一つ

- の重要な焦点に据えているが、比較分析のための準備(前回調査の集計を行うためのデータの準備、それによる基本集計表の作成など) もほぼ終了した。
- (4) 中津江村に加えて、適切な調査地域をもう一つ追加出来れば好ましいと思っていたが、中国山地(=広島県や山口県)での山村調査(調査票をつかったデータ蒐集や聞き取り調査)も21年度にて大枠は終了し、データセットをほぼ利用できるところまで作業が進んでいる。
- (5) さらに計量社会学的分析、山村集落の事例調査も蓄積しつつあるが、研究成果は、一部、学会で報告した。21年度までにて、定住問題などに関して、いくつかの論文も発表することができた。
- 3. 現在までの達成度
- ②おおむね順調に進展している

## 4. 今後の研究の推進方策

- (1) 三つの社会調査(=二つの中津江村調査、中国山地での山村調査)のデータセットはほぼ完成したので、SPSSなどの統計パッケージを利用して、計量分析を行う。それにともなって、補充的な地域調査が必要となる場合もあろう。
- (2) 22 年度は最終年度であるので、総括的な分析をめざすが、人口 U ターン、定住経歴、家族構造など 21 年度までに分析できなかっ

た重要問題もある。これらの未着手の問題も 分析を行い、総括的分析に向かう。

- (3) 特に、二時点での中津江村調査のデータは貴重なものと思う。生活構造の各局面での比較分析を行う予定である。加えて、中津江村調査と中国山地山村調査の比較分析も重要な課題となる。
- 5. 代表的な研究成果 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計 4件)

- ① <u>高野和良</u>、過疎農山村における市町村合併の課題—地域集団への影響をもとに、社会分析、36号、35-47頁、2009年、査読あり
- ② <u>山本努</u>、山村集落の過疎化と棚田オーナー制度、現代の社会病理、23 号、17-28 頁、2009 年、査読あり

〔学会発表〕(計 5件)

- ① <u>山本努</u>、過疎地域における人口定住と生活環境、日本社会病理学会、2009 年 9 月 27 日、國學院大学(東京)
- ② <u>高野和良</u>、過疎高齢化と高齢者の社会参加活動、西日本社会学会、2008 年 5 月 11 日、活水女子大学(長崎)

[図書] (計 2件)

- ① <u>山本努</u>、山村集落の過疎化と山村環境保全の試み、森田洋司監修、新たなる排除にどう立ち向かうか(シリーズ社会問題研究の最前線Ⅱ ソーシャル・インクルージョンの可能性と課題)、学文社、259-275 頁、2009 年
- ② 堤マサエ・<u>徳野貞雄・山本努</u>編著、地方からの社会学-農と古里の再生をもとめて-、 学文社、1-13 頁、118-141 頁、186-215 頁、 2008 年

[産業財産権]

○出願状況(計 0件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号:

出願年月日: 国内外の別:

○取得状況(計 0件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号: 取得年月日:

[その他]

国内外の別: